

- 1 アイスランド
- 2 フィンランド
- 3 ノルウェー
- 4 スウェーデン
- 5 デンマーク
- 9 フィリピン
- 12 ドイツ
- 16 フランス
- 19 カナダ
- 20 アメリカ
- 26 イギリス
- ...
- 69 イタリア
- 75 ロシア
- 87 中国
- ...
- 104 日本**
- 117 韓国
- 142 イエメン

世界経済フォーラム発表 (2014年)

何の順位でしょう?

正解は、「男女平等指数の世界ランキング」です。世界経済フォーラムが毎年発表しているもので、政治参加や社会進出などにおける男女格差を表しています。日本は世界 142 개국中 104 位と不名誉なレベルになっています。

この順位を上げるには、人口の半分を占める女性の就業率を高めることも一つの方法です。しかし、現状は女性が働きやすい環境ではなく、女性が働き続けるのは難しい状況にあります。女性の活躍の場を広げるには、職場の制度や理解、子育て支援制度・施設などの整備が必要です。それから、なにより家族の協力が重要です。

右のグラフは夫の家事・育児時間を世界の国々と比較したものです。日本の夫の家事時間が極端に少ないことがわかります。また、日本全国より青森県はさらに少なく、育児時間を除いた家事時間は、たった9分しかないことがわかります。

日本は家事や育児の負担が女性に大きく偏っているという実態があり、女性が社会で活躍するためには、男性がもっと家事に積極的になる必要があります。

しかし他の先進国に比べると、日本は労働時間が長い状況が続いています。社会全体でその意識を変え、残業を減らすことにより、夫が家事や育児の手助けをもっとできるようにしなければいけません。

夫の家事・育児時間(1日)



※6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間 (1日当たり)
男女共同参画白書 平成22年版
※青森県のデータは「平成23年社会生活基本調査」

男性であっても就職先を見つけることが大変な現状では、女性が社会に出て働き輝こうという施策に抵抗を感じる方がいるかもしれません。しかし、女性が女性特有の感性や経験を活かして能力を発揮し、新しい事業を展開して雇用がつくられている例もたくさんあります。

男女に限られた雇用を求めるのではなく、女性も男性も非正規雇用の人もそれぞれが目標を持ち、能力を生かして生き生きと働くことができる社会環境になれば、地域は元気になり活性化していくのではないのでしょうか。

さんかく編集委員募集!!

男女共同参画に興味のある方、情報紙の編集をやりたい方、男女問いません。まずは、ご連絡ください。
◎企画課男女共同参画室
TEL: 0173-35-2111 内線 2156

編集後記

「えっ? そうなの! ?」
この驚きは男女平等指数世界ランキングでの日本の順位の低さに対するものです。平和で自由な日本で男女平等が実現できていないという現実。五所川原の女性市議会議員も、もっと増えてほしいなあ。(A.)

編集: さんかく編集委員 5名

さんかく

※この情報は市民からの公募による編集委員によって作成されています。
女性 (Female) と男性 (Male) がともに支え合い、対等な立場で社会 (Society) を形成することを願って!!
第19号 企画課 男女共同参画室 (内線 2156)

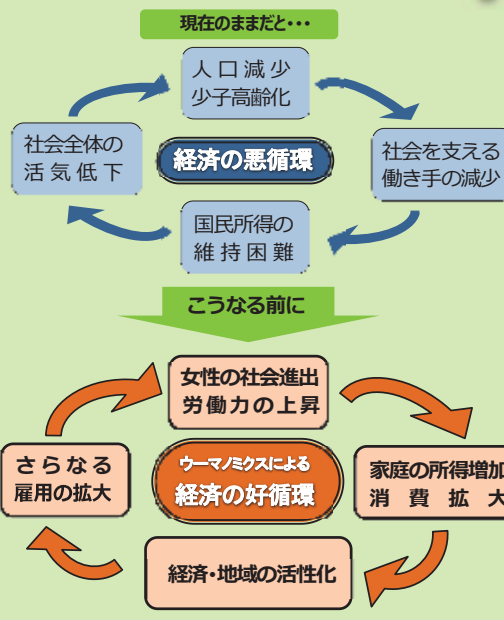


ウーマノミクスが地域をかえる



近頃アベノミクスやウーマノミクスなどテレビや新聞でよく目にするようになりました。カタカナばかりで分かりにくいのですが、ウーマノミクスとは、女性が活躍する社会をつくる、そうすれば経済が活性化して地域が元気になるということです。地域の活性化は、五所川原市に住む私たちの願いです。実際どのようになれば地方経済が活性化するのでしょうか。また、私たちはそのために何をすればよいのでしょうか。

なぜ女性の活躍が必要なの?



ウーマノミクスとは?

~ウーマン+エコノミクスの造語~
ゴールドマン・サックス証券のキャシー・松井さんが1999年に提唱した考え方です。就業する女性が増えることによって、企業活動の活性化や消費の拡大といった効果が表れ、社会や経済が活性化するという意味合いを持っています。

~男女共同参画~ 豆知識

株式会社帝国データバンク2013年調査によると、青森県の女性社長比率は9.9%と、全国の7.3%に比べると若干高くなっています。1990年から上昇傾向にあり、2011年に最高比率を更新、その後も横ばいで推移しています。女性が活躍できる環境の整備が進むことで、更なる女性の進出、起業を期待します!